

女性消防団員紹介



枚方市消防団 四方 陽子

AED 講習会に参加した際、初めて女性消防団員の存在を知りました。

普通の主婦である私でも入団できることを知り、生き活きと活動されている先輩方の姿を見て『私も何かしてみたい。何かできることがあるのではないかな』と思い入団を決めました。

定期訓練（軽可搬ポンプを用いた消火訓練・落水者救助訓練）、自主防災訓練での初期消火指導、HUG（避難所運営ゲーム）訓練、AED を用いた応急手当講習や子どもたちへの安全教室を行うことが主な消防団活動です。

消防団活動では、定期訓練で2年に1度行われる落水救助訓練が印象に残っています。

着衣のまま泳いだり、「浮いて待て！」の実践。靴を履いた状態で空のペットボトルを持ったままの状態でも浮くことも体験します。着衣泳では、洋服が水を含んで思うように泳げないことを実感。水難事故にあわない為にも、特に子ども達には、ライフジャケットの必要性が重要だと教官が何度もおっしゃっていたのが印象的でした。

現在、私は娘2人の子育てをしながら普段は歯科医院で受付の仕事をしています。

家庭、職場、消防団とそれぞれ違う顔を持つことができ、メリハリのある毎日を過ごしています。

消防団に入るまでは、応急手当や防災の知識など、ほとんどありませんでした。

入団後、応急手当普及員の取得や日々の活動を通じて少しずつですが知識を深めることができましたと思います。

まだまだ勉強中ですが、今後は身につけた知識を地元・枚方の方々に広めていけたらと思っています。

AED を用いた応急手当講習の様子

